

淡路人形座

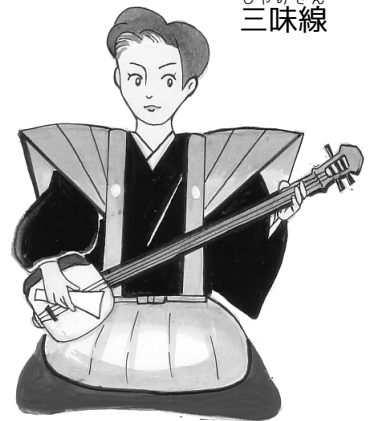
～ドラマティックな人形芝居～



人形



太夫



三味線

淡路人形浄瑠璃は兵庫県淡路島で生まれた民俗芸能です。室町時代に始まり最も盛んだった江戸時代中期には40以上の座と呼ばれるグループがあり、日本各地に人形浄瑠璃を伝え今でも各地域のお祭りなどで盛んに行われています。人形、太夫、三味線が作り出す～ドラマティックな人形芝居～一瞬で衣装が替わる「早替り」など演出も派手で観る人を楽しませています。



人形をあやつって、
舞台に出てみよう！

太夫になって、みんなで息を合わせ
て語ってみよう！



「文化芸術による子供育成総合事業～巡回公演事業～」

我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等において公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的としています。事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちにも参加してもらいます。

◆プログラム 110分

はじまりの挨拶と淡路人形浄瑠璃の紹介

「生写朝顔日記 大井川の段」・・・一緒に元気よく声を出して語ってみよう！

人形・太夫・三味線のおはなし・・・それぞれの表現方法はどんなのかな？

「戎舞」・・・生きているように人形を動かして、えびすさまにお酒を飲ませて
願いごとをかなえてもらおう。

～休憩（10分）～

「本朝廿四孝 奥庭狐火の段」・・・人形と人形遣いの衣装が一瞬で替わる「早替り」が見所です。

おわりの挨拶

◆スケジュール

実施日程	実施校
11月9日（月）	日田市立有田小学校
11月10日（火）	志布志市立宇都中学校
11月11日（水）	長島町立長島中学校
11月12日（木）	日置市立伊集院北小学校
11月13日（金）	いちき串木野市立串木野西中学校
11月16日（月）	和泊町立国頭小学校
11月17日（火）	和泊町立城ヶ丘中学校
11月19日（木）	本部町立瀬底小学校

◆出演者

人形遣い	吉田新九朗	吉田史興	吉田徳威
	吉田廣の助	吉田光太郎	吉田幸路
	吉田千紅	吉田青豊	吉田松永
	吉田明玉		
太夫	竹本友庄	竹本友和嘉	竹本友里希
三味線	鶴澤友勇	鶴澤友弥	

◆公益財団法人淡路人形協会 淡路人形座プロフィール

1964年に発足した淡路人形座は、260年以上の歴史を誇る吉田傳次郎座の道具類を引き継ぎ、何世代もの人々の創意工夫が重ねられ受け継がれた人形浄瑠璃を上演しています。1998年に重要無形文化財義太夫節三味線保持者に認定された故鶴澤友路の弟子をはじめ、男性10名、女性8名の座員が淡路人形座で毎日公演する一方、国内外への出張公演、学校への出張講座、小・中学校、高校、子供会活動の後継者団体への指導、全国の伝統人形芝居保存会への協力など、伝統人形芝居の普及発展のための活動も積極的に行っています。

知っていますか？～10月1日は「国際音楽の日」です～

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることにしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。